

## アンテナ/オプション

※オプションのアンテナ、ケーブル、サージプロテクターは受注生産品です。納期につきましてはお問い合わせください。

AT-TQ2403EX用の屋外設置アンテナ※1のラインナップと付随するオプション品です。LAN間接続などに使用される本体、アンテナ、ケーブルの組合せで技術基準適合証明を取得済みです。

▶▶無線リンク設計ツール

▶▶長距離アンテナ（高利得アンテナ）設置に関するご注意

▶▶販売終了のオプションは、AT-TQ2403EX ユーザーマニュアル(43ページ)をご参照ください。

| 標準アンテナ | ケーブル型アンテナ |  
| ケーブル/サージプロテクター | アンテナ外觀図 |

### [ 標準アンテナ（受注生産品） ]



AT-TQ0202J V2  
カージオイドアンテナ

型名	AT-TQ0202J V2
形式	カージオイド
使用可能機種	AT-TQ2403EX
指向性	指向性
E面半値角 (垂直方向)	約75°
H面半値角 (水平方向)	約135°
利得※1	2dBi
周波数	2400~2500MHz
インピーダンス	50Ω
帯域内VSWR	2.0以下
コネクタ※2	N-P型
ケーブル	5D-2V 5m
質量※3	約0.3kg
外形寸法	Φ44×106mm
耐風速	50m/s
最大受風荷重※4	約0.9kgf
仰角調整範囲	±90°※5
温度（動作時）	-20~60℃
湿度	20~90%

※1コネクタ末端における公称値。

※2コネクタ接続後、自己融着テープで防水処理をしてください。

※3取付金具を含む。

※4取付金具を含まない風速60m/s時の値。

※5取付方法によっては固定となります。

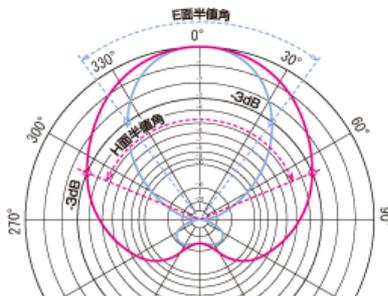
#### ■ 半値角とは

電波が最強となる点を中心にして、強度（電力）が半分（-3dB）になる点がつくる角度を半値角と言います。

半値角は指向性の鋭さを示し、小さいほど感度（動作利得）が高くなります。

例えば、カージオイドアンテナAT-TQ0202J V2の場合（右図）、水平方向に約135°、垂直方向に約75°となります。これはアンテナ前方に対して広範囲に地表を覆うような指向性で、移動体との通信に適しています。

一方、グリッドパラボラアンテナAT-TQ0208Jでは、水平、垂直方向とも鋭い指向性を持ち、利得もAT-TQ0202J V2に比べて高くなります。これは固定された2点間を結ぶ通信に適しています。



▲ TOP

### [ ケーブル型アンテナ ]



**AT-TQ0209J-5D**  
漏洩同軸ケーブル型 (5D)

型名	AT-TQ0209J-5D
形式	漏洩同軸ケーブル型 (5D)
使用可能機種	AT-TQ2403EX
利得	-5.541dBi (2.4GHz/20℃)
周波数	2400 ~ 2500MHz
インピーダンス	50Ω
帯域内VSWR	1.5以下 (コネクターを含む)
伝送損失(標準)	0.46dB/m (2.4GHz/20℃)
結合損失(50%値)	60dB (2.4GHz/20℃)
長さ	10m
ケーブル外径	約7mm (コネクター部外径: 約14mm、 終端部外径: 約15mm)
質量	約700g
コネクター	SMA-J(片側: 終端抵抗) SMAP-NJ変換アダプター同封
温度(動作時)	-40℃ ~ 80℃
湿度	0 ~ 95%

▲ TOP

[ ケーブル/サージプロテクター (受注生産品) ]



**AT-TQ0062**  
10mアンテナ延長ケーブルNJ-NP

通過損失 3.2dB  
使用可能機種 AT-TQ2403EX  
屋外敷設 可能

▲ TOP

[ アンテナ外觀図 ]

**AT-TQ0202J V2**

